

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期
1	36	排泄時や入浴時の声掛けの配慮が不足している時がある。	利用者が不愉快の思いをしないような声掛けや言葉遣いを行い、落ち着いた対応を心掛ける。	特に難聴の利用者に対して声のトーンに気を配り、周囲に影響を与えないように声掛け伝達方法を配慮し、必要時には職員間で注意しあいながら取り組んでいく。	3ヶ月
2	44	便秘の利用者に対して、薬剤にたよってしまうことが多い。	薬剤のみに頼らず、自然に排便が出るような工夫をする。	毎朝・夕にセンナ茶を飲用してみたり、乳製品や繊維質の食材を使用したり工夫をする。更に、排便につながる運動なども取り入れたりしてみる。	3ヶ月
3	3	地域貢献は、明確な実施が図られていない。	少しずつでも、今以上の地域貢献に努めていく。	地域のボランティアは回を重ねる度、馴染みの関係になり、時に介護の相談を受ける事があるので積極的に助言を図り、少しずつでも貢献できるよう努める。	12ヶ月
4	13	多くの外部研修に参加する。	事業所外で開催される研修に、より多くの職員が参加できるようにする。	経験年数などを考慮し、職員個人に合った研修に参加し、研修内容を報告する機会を設けるなどで、更なる質の向上に繋げていく。	12ヶ月
5	34	急変時や事故発生時の応急処置などの訓練が不足している。	急変時、事故時の対応や処置を普段から学習に努め、備える。	外部の講習会の参加や、苑内でも講習会や訓練を定期的実施し、普段からマニュアルに目を通すなど、いざという時に備える。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。